令和5年度 国語科「現代の国語」シラバス

	単位数	2 単位	学科・学年・学級	園芸・自動車・情報処理科 2年 A・B・C組
	教科書	高等学校標準現代の国語	副教休才等.	常用漢字オールクリア(尚文出版)
		(第一学習社)		担当者による自作プリント

1 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 学習の計画

・文章の種類を踏ま	2 学習の計画	VATERAL 1 111 1	ΔΑ.ΣΕΣ →	かねて トラック ハカコペイ	attitus on Libration
えて、内容や構成、 論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けようとしている。 ・論理的に考える力や深く共感したりする力を伸ばし、自分の思いや考えを深めようとしている。 ・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けようとしている。 ・論理的に考えを深めようとしている。 ・素社会に必要な国語の知識や対能を身に付けようとしている。 ・書いて伝える ・実社会に必要な国語の知識や対能を身に付けようとしている。 ・ま社会に必要な国語の知識や対能を身に付けようとしている。 ・ま社会に必要な国語の知識や対能を身に付けようとしている。 ・ま社会に必要な国語の知識や対能を身に付けようとしている。 書いて伝える 書いて伝える 書いて伝える 書いて伝える 書いて伝える 書いて伝える 書き方の基礎レッスン 表記・表現の基本ルールを理解する。 を説明するための工夫を、文章の構成や取り上げられた事例から、把操を正確に把握りている。 ・実社会に必要な国語の知識や対能を身に付けようとしている。 ままうの基礎レッスン表記を表現の基本ルールを理解する。 接続表現の種類や用法を理解方や検続の仕方たが、授業時のよったが、対象が、またが、授業時のよったが、対象が、またが、授業時のようないまたが、またが、対象が、またが、対象が、またが、対象が、またが、対象が、対象が、またが、対象が、またが、対象が、対象が、対象が、対象が、対象が、対象が、対象が、対象が、対象が、対象			学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
5 語の知識や技能を身に付けようとしている。 ・論理的に考える力や深く共感したりする力を伸ばし、自分の思いや考えを深めようとしている。 ・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けようとしている。 ・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けようとしている。 ・実社会の地質的を表現して確認して確認して確認して確認して確認して確認して確認して確認して確認して確認	えて、内容や 論理の展開ないて叙述を基 に捉え、要旨 を把握してい	容や構成、 開などにつ を基に的確 要旨や要点 ている。 言葉が開く	手塚治虫	を説明するための工夫を、文章 の構成や取り上げられた事例から把握する。 人間関係を調整する「言葉」と	文章の意味を的確に理解できたか、また、語句の意味を正確に把握できたか、ノートやプリント、感想文等を通して確認する。 文章の意味を的確に理解できたか、また、語句の意
る力を伸ばし、自分 の思いや考えを深め ようとしている。 ・実社会に必要な国 語の知識や技能を身 に付けようとしてい る。 書いて伝え る 書き方の基礎レッスン を選集できた。 を通して確認 を通してを表してい る。 また、基本 の質問・ノート 等を通して確認 を通してを表してい を対したか、授業時の 大や、授業時の ト・プリント等	5 語の知識や技に付けようとる。・論理的に考	や技能を身 うとしてい こ考える力		具体的事例とともに理解を深め	味を正確に把握できたか、 ノートやプリント、感想文 等を通して確認する。
る。 書いて伝える 書き方の基礎レッスン 表記・表現の基本ルールを理解する。 文章の効果的方や接続の仕方を接続の仕方を接続の仕方を接続の仕方を接続の仕方を接続の仕方を接続の仕方を表現の種類や用法を理解する。 6 する。 ト・プリント等	る力を伸ばし の思いや考え ようとしてい ・実社会に必	ばし、自分 考えを深め 人間と文化 ている。 こ必要な国		日本の水文化に見られる特徴に ついて論じる叙述の方法を把握	文章の内容を理解できたか、また、基本的な文法事項を理解できたか、授業時の質問・ノート・プリント等を通して確認する。
	వ	書いて伝え		解する。 接続表現の種類や用法を理解	文章の効果的な組み立て 方や接続の仕方が理解でき たか、授業時の質問・ノー ト・プリント等を通して確 認する。
	7				

9	・文章の種類を踏ま えて、内容や構成、 論理の展開などにつ いて叙述を基に的確 に捉え、要旨や要点 を把握している。	現代と社会	「黄色い花束」黒柳徹子	コソボの話題と筆者の子供時 代の話題との関係を把握し、子 供たちに対する筆者の思いにつ いて考えを深める。	文章の意味を的確に理解 できたか、また、語句の意 味を正確に把握できたか、 ノートやプリント、感想文 等を通して確認する。
	・話し言葉と書き言 葉の特徴や役割、表 現の特色を踏まえ、 正確さ、適切さなど に配慮した表現や言 葉遣いについて理解 している。	話して伝える	話し方の工夫	話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 相手・目的・場面に応じた言葉遣いを理解する。 相手により伝わりやすい表現方法を理解する。	話し言葉と書き言葉の特 徴、相手や目的に応じた言 葉遣いを理解できたか、ノ ート・感想等を通して確認 する。
			中間考査		
11	・論理的に考える力 や深く共感したりす る力を伸ばし、自分 の思いや考えを深め ようとしている。	現代と社会	「イースター島になぜ森が ないのか」 鷲谷いづみ	イースター島の歴史について 理解し、筆者が提示する人類と 生態系のあり方について考察す る。	文章の意味を的確に理解 できたか、また、語句の意 味を正確に把握できたか、 ノートやプリント、感想文 等を通して確認する。
	・言葉には、認識や 思考を支える働きが あることを理解して いる。	話して伝える	スピーチで自分を伝える	自分の意見を大勢の聞き手に わかりやすく伝えるスピーチの 方法を理解し、実践する。	自分の意見を聞き手に伝 える手法を理解できたか、 発表や感想文等を通して確 認する。
12			期末考査		
1	・論理的に考える力 や深く共感したりす る力を伸ばし、自分 の思いや考えを深め	社会と人間	「人はなぜ仕事をするの か」 内田樹	本文で使われている「パス」 という言葉の意味を考え、筆者 が述べる仕事の本質について考 察する。	文章の内容を理解できた か、また、基本的な文法事 項を理解できたか、授業時 の質問・ノート・プリント
2	ようとしている。 ・言葉には、認識や 思考を支える働きが あることを理解して いる。		学年末考査		等を通して確認する。

3 評価の観点

知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにできている。
思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、 自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができている。
主体的に学習に	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の
取り組む態度	担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。

4 評価の方法

「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点から、評価規準に従い総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ

毎時間の板書内容の書き取りを忘れない、怠らない。プリント提出及び点検があるので、それに備えておく。常用漢字テストではできるだけ得点を重ねられるよう、事前学習を確実にする。プリントや課題の提出をおろそかにしない。以上が十分にできれば、単位修得の可能性は高い。